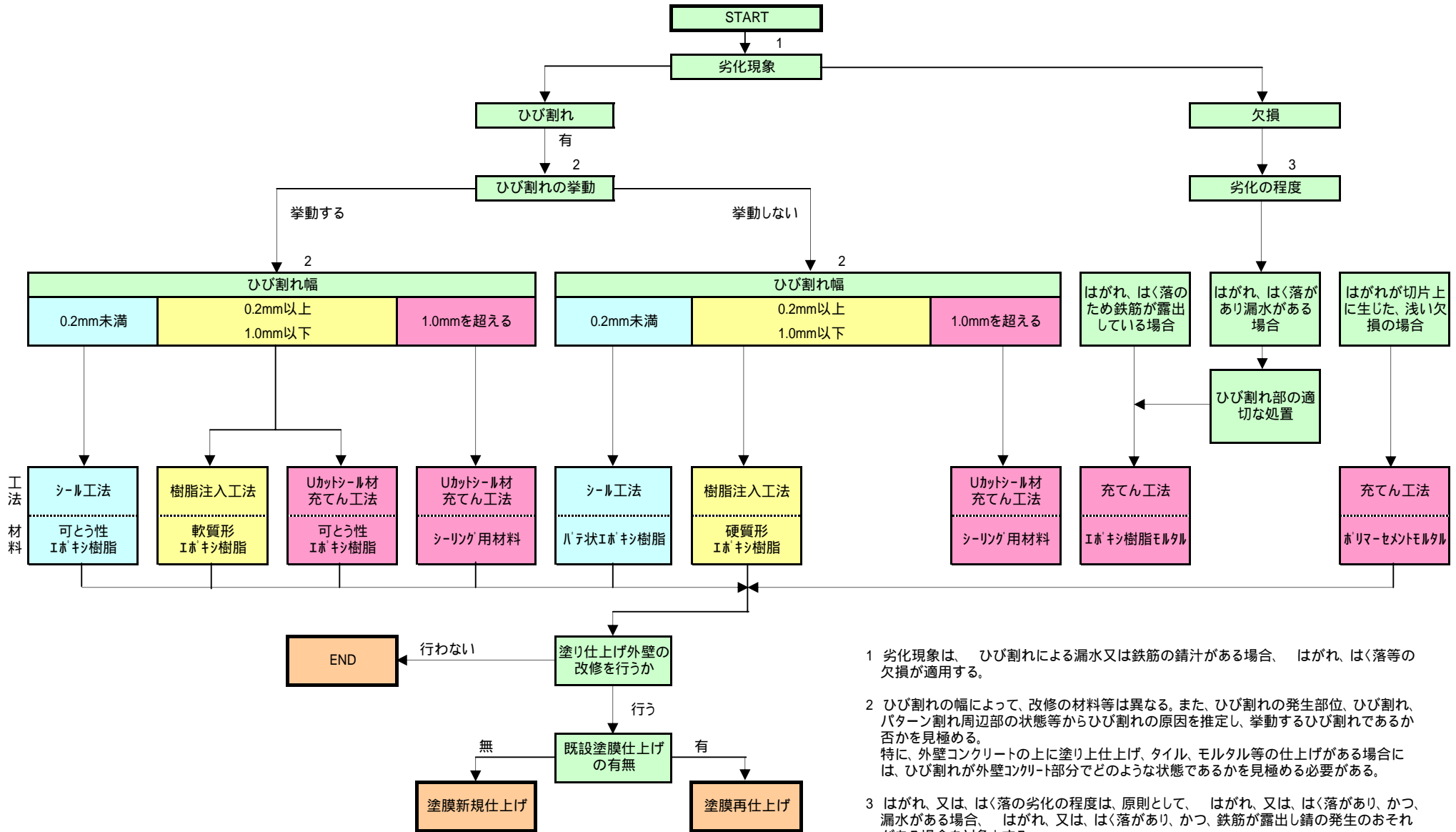


コンクリート打放し仕上げ外壁の改修工法選定フロー



- 劣化現象は、ひび割れによる漏水又は鉄筋の錆汁がある場合、はがれ、はく落等の欠損が適用する。
- ひび割れの幅によって、改修の材料等は異なる。また、ひび割れの発生部位、ひび割れ、パターン割れ周辺部の状態等からひび割れの原因を推定し、挙動するひび割れであるか否かを見極める。特に、外壁コンクリートの上に塗上仕上げ、タイル、モルタル等の仕上げがある場合には、ひび割れが外壁コンクリート部分でどのような状態であるかを見極める必要がある。
- はがれ、又は、はく落の劣化の程度は、原則として、はがれ、又は、はく落があり、かつ、漏水がある場合、はがれ、又は、はく落があり、かつ、鉄筋が露出し錆の発生のおそれがある場合を対象とする。表面の軽微なはがれ、又は、はく落の場合は、別の主たる改修に併せて改修するか、又は、当面の間様子を見る。
- コンクリート打ち放し仕上げ外壁表面の塗り仕上げの改修については、美観性の観点から健全部も含めて実施の程度について検討する。